

第 46 回 (2006 年度) 全国研究大会 The 46th Annual Conference

大会テーマ

Conference Theme

学習者の自律に果たす教員とメディアの役割

Achieving Learner Autonomy:
The Roles of Teachers and Media



主催 外国語教育メディア学会 (LET) 会長 木下 正義
大会会長 野村 和宏
大会実行委員長 Thomas ROBB

後援 文部科学省、京都府教育委員会、京都市教育委員会 (申請中)
期日 2006 年 8 月 2 日 (水) ~ 4 日 (金)
会場 京都産業大学 Kyoto Sangyo University
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 Tel. 075-705-1461
京都市北文化会館 (公開シンポジウム)
〒603-8142 京都府京都市北区北上総町 49-2 Tel. 075-493-0567

大会事務局 大阪大谷大学短期大学部 小山研究室内
〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3-11-1 Tel. 0721-24-4796
E-mail: secretariat2006@let-kansai.org

Conference Website: <http://www.j-let.org/kansai/>

ご あ い さ つ F o r e w o r d

野村 和宏 NOMURA, Kazuhiro

全国大会会長、LET 関西支部長、神戸市外国語大学
Conference Chair, President of LET Kansai Chapter
Kobe City University of Foreign Studies

歴史を重ねてきたわれわれの学会の全国大会も第46回を迎えることとなりました。21世紀を前にして新世紀の外国語教育・研究を議論したことがまだつい先日のように思い出されます。とりわけ20世紀最後の10年間から今に至るメディアやテクノロジーの進歩は著しく、外国語教育研究においても技術的には文字、音声、映像を自由に使いこなせる時代となりました。

この流れの中で常に時代をリードしてきたわれわれの学会が、最先端の技術を通して教育研究にどのような貢献ができるのか、最先端の技術が活用できる教室での教師の存在意義はどういうものか、学習者一人一人が最終的には自律した学習者となり学びの営みを続けていくにはどうすればよいか、そうした問いかけに答えるために今回の大会テーマを「学習者の自律に果たす教員とメディアの役割」とし、みなさんと共に考える機会といたしました。

初日の公開シンポジウムでは日本の外国語教育政策の将来にも影響する小学校英語教育問題を取り上げ、第一線の先生方にお話しいただく機会を設けました。ワークショップでは明日の授業からすぐに活用できる多様な内容を企画しています。また基調講演ではCALLに関して著名な研究者の先生方にご講演いただきます。最終日の全体シンポジウムでは大会テーマそのものについて、メディアの最先端に関わっておられる第一人者のパネリストの方々にご発言いただき、大会を締めくりたいと思います。また今年から新たに学会賞の表彰が始まり、いよいよその第一回の受賞者が発表されます。どうぞご期待ください。

一年に一度全国の会員のみなさんが一同に会し、直接親交を深めながら外国語教育研究に議論をたたかわしていただけたら幸いです。古都京都での今年の全国大会に多くのみなさまにご参加いただきますよう、心から願っております。

8 / 2

2 August

各種委員会・支部長連絡会・理事会

Committee Meetings, Chapter Presidents' Meeting & National Directors' Meeting

10:30- (受付 Registration)

11:00-12:30

5221-5225, 5298 (5号館2階 Building 5, 2nd floor) 各種委員会、支部長連絡会

13:00-17:00

5298 (5号館2階 Building 5, 2nd floor) 理事会

ワ ー ク シ ョ ッ プ

W o r k s h o p s

11:30- (受付 Registration)

12:00-13:40 (1回目 1st)

14:00-15:40 (2回目 2nd)

申込方法	ワークショップに参加ご希望の方は、j_suzuki@kufs.ac.jp(最初のアルファベットは小文字の「ジェイ」)までメールでお申し込みください。その際、1)おなまえ、2)ご所属、3)メールアドレス、4)LET 会員資格の有無、5)講座番号、の5点を必ずお書きください。講座は全部で4種類あり、12:00～13:40と14:00～15:40(各100分)のそれぞれ2回ずつ実施されます。時間帯をお間違えないようご注意ください。 なお、お申し込みから3日以内に、受講の可否について返信させていただきます。お申し込みから3日過ぎても返信メールが届かない場合は、上記アドレスまでご連絡ください。
申込期間	2006年7月10日(月)～7月20日(木)です。但し、定員になり次第締め切らせていただきますので、参加ご希望の方はお早めにお申し込みください。
定員	各講座30名
受講料	LET 会員:1,000円 / 非会員:2,000円(1講座ごとの料金です。当日受付にてお支払いください)

Signing up: To sign up for a workshop, send a message to j_suzuki@kufs.ac.jp with the following information: name, affiliation, E-mail address, whether or not you are a LET member, the number of the workshop you wish to attend. There are a total of four workshops each of which will be offered twice, from 12:00 ~ 13:40 to 14:00 ~ 15:40 (100 minutes each).

If you do not receive a message confirming your sign-up request within 3 days, please send a message requesting confirmation to the above address.

Sign-up period: Application for attendance will be accepted from July 10 to 20, 2006 on a first-come, first-served basis.

Number of participants per workshop: 30

Fee: LET members: ¥1,000 per workshop / non-members, ¥2,000 per workshop. Please pay at the reception desk on the day of the workshop.

Open PC room (5号館2階 Building 5, 2nd floor)

講座番号-1 12:10 ~ 13:50 講座番号-5 14:20 ~ 16:00

ゼロからはじめるデジタル教材作成コース: 音声教材をつくってみよう!

講師: 住 政二郎 (姫路獨協大学)

Digital materials from scratch: Let's prepare audio materials!

Instructor: SUMI, Seijiro (Himeji Dokkyo University)

初心者を対象に、授業実践に役立つ音声付・パワーポイント教材作成方法のコツを紹介します。講習では実際に、1) 素材の準備 (外部音源の取り込み) 2) 編集・加工 (音源の編集・加工)、3) 組み立て (音源の読み込み) に取り組んでいただき、デジタル教材作成の基本を習得していただく予定です。

5226 (5号館2階 Building 5, 2nd floor)

講座番号-2 12:10 ~ 13:50 講座番号-6 14:20 ~ 16:00

英語の授業の大半を英語で行うための工夫

講師: 溝畑 保之 (大阪府立鳳高等学校)、平尾 一成 (大阪府立寝屋川高等学校)

How to conduct English-medium classes

Instructors: MIZOHATA, Yasuyuki (Osaka Prefectural Otori Senior High School),

HIRAO, Kazunari (Osaka Prefectural Neyagawa Senior High School)

文科省の「行動計画」やセンター試験へのリスニング導入、小学校への英語教育の導入など、授業を英語で進める素地は固まっていますが、授業実践での英語使用率はきわめて低いといわれています。このワークショップでは、Willis (1996:11) の言語学習の条件、1) インプットとしての exposure、2) アウトプットとしての use、3) インプットとアウトプットを押し進める motivation、4) 学習の速度を速める instruction を指針に、教員と生徒の両方が英語を使用するための工夫を具体的に紹介します。

5227 (5号館2階 Building 5, 2nd floor)

講座番号-3 12:10 ~ 13:50 講座番号-7 14:20 ~ 16:00

入試に対応できる英語力とコミュニケーション能力を育成するための効果的な音読指導

講師: 鈴木 寿一 (京都外国語大学)

Effective oral reading for entrance exam preparation and communication skills

Instructor: SUZUKI, Juichi (Kyoto University of Foreign Studies)

「音読指導がうまくいかない」「音読はどんな効果があるのかがよくわからない」「音読指導の方法を5種類ぐらい(またはそれ以下)しか知らない」などの悩みや疑問をお持ちの先生方を対象に、1)一般に行われている音読指導の問題点、2)音読の効果、3)音読指導を通して、入試に対応できる英語力とコミュニケーション能力を育成するためにはどうすればよいか、4)さまざまな音読指導法、の4点を扱います。講習では、(1)～(3)を約30分で扱い、そのあとは時間のあるかぎり、いろいろな方法を実体験していただきます。

PC room (5号館2階 Building 5, 2nd floor)

講座番号-4 12:10～13:50 講座番号-8 14:20～16:00

i-Pod + 教材作成 =

講師: 加藤 映子(大阪女学院大学)、アップルコンピュータ(株)教育担当チーム

i-Pod + materials development =

Instructors: KATO, Eiko (Osaka Jogakuin University), Team Apple Computer

iPod の教育機関での利用がこの2年急速に進められてきました。この講習会では、前半に世界で始めて iPod を利用した大阪女学院大学・短期大学の英語教育の事例紹介を行います。前半では、1) iPod を教育に利用しようとした理由、2)教材のダウンロード方法、3)現在までの教育効果、4)今後の展開についてお話しします。また、後半は、アップルコンピュータ株式会社による「教育用コンテンツの作成方法、発信方法」の講習を行います。映像や音声を編集し教育用コンテンツを作成し、最終的に iPod へ配信する方法をデモで行います。この講習会では受講生が実際に教材を作成することはありませんが、簡単に作成できる方法をお見せいたします。

公開シンポジウム

Symposium

16:30-18:30

京都市北文化会館 (京都市地下鉄北大路駅下車すぐ) Kyoto-shi Kita Bunka Kaikan

テーマ 小中連携からみた英語教育

司会 井狩 幸男(大阪市立大学)

パネリスト 渡邊 寛治(文京学院大学、国立教育政策研究所名誉所員)

山本 玲子(京都教育大学附属京都中学校)

畑田 文(箕面市立西小学校)

共催 小学校英語教育学会(JES)

Topic Coordinating elementary and junior high English education

Coordinator IKARI, Yukio (Osaka City University)

Panelists WATANABE, Kanji (Bunkyo Gakuin University)

YAMAMOTO, Reiko (Kyoto Junior High School of Kyoto University of Education)

HATADA, Aya (Minoo Municipal Nishi Elementary School)

このプログラムのみ「京都市北文化会館」で開催されます。 <http://www.kyotokaikan.org/kita/>

9:00- (受付 Registration)

開会行事 / LET 学会賞授与式

Opening Ceremony / LET Awards

9:40-10:10

5303 (5号館3階 Building 5, 3rd floor)

司会	横川 博一(神戸大学)
挨拶	坂井 東洋男(京都産業大学学長) 木下 正義(LET 会長、福岡国際大学) 野村 和宏(大会会長、LET 関西支部長、神戸市外国語大学)
LET 学会賞審査報告	杉森 幹彦(LET 学会賞選考委員長、立命館大学)
LET 学会賞授与	木下 正義(LET 会長、福岡国際大学)
Coordinator	YOKOKAWA, Hirokazu (Kobe University)
Greetings	SAKAI, Toyoo (President of Kyoto Sangyo University) KINOSHITA, Masayoshi (President of LET, Fukuoka International University) NOMURA, Kazuhiro (Conference Chair, President of LET Kansai Chapter, Kobe City University of Foreign Studies)
LET Awards	
Announcement	SUGIMORI, Mikihiko (LET Awards Committee Chair, Ritsumeikan University)
Presentation	KINOSHITA, Masayoshi (President of LET, Fukuoka International University)

基 調 講 演 1

Keynote Speech 1

10:20-11:40

5303 (5号館3階 Building 5, 3rd floor)

テーマ	Learning from the future: issues in the development of computer-assisted language learning
司会	ROBB, Thomas (京都産業大学)
講師	BEATTY, Ken (前香港大学・フリー教材作成者)

Coordinator ROBB, Thomas (Kyoto Sangyo University)
Speaker BEATTY, Ken (ex-Professor of Hong-Kong University, free-lance materials developer)

賛 助 会 員 展 示

C o m m e r c i a l E x h i b i t s

11:00-17:00

5322, 5323, 5324, 5402, 5403, 5号館3階・4階フロア, 1階ロビー

賛 助 会 員 デ モ ン ス ト レ ー シ ョ ン

D e m o n s t r a t i o n

12:30-15:30

5404 (5号館4階 Building 5, 4th floor)

1. 株式会社アドバンスト・メディア
「日本人向け英語発音矯正ソフト【AmiVoice CALL -pronunciation-】の特徴と活用例」
 2. 株式会社アルク教育社
「新製品【ALC NetAcademy2】のご紹介」
 3. アルプス システム インテグレーション株式会社
「CALL システムと大学での CALL 活用」
 4. 国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部
「TOEFL iBT について」
 5. 電子システム株式会社
「電子黒板機能を使ったビデオコミュニケーションツール【Video Canvas】」
 6. 株式会社ダインエド ジャパン
「Coaching for effective study」
- (各社の発表時間は30分です)

総 会

G e n e r a l M e e t i n g

11:45-12:20

5303 (5号館3階 Building 5, 3rd floor)

研究発表・実践報告

Presentations

13:00-15:15

5405 第1室 Room 1

司会 高橋 美由紀(兵庫教育大学) TAKAHASHI, Miyuki (Hyogo University of Teacher Education)
飛田 ルミ(足利工業大学) TOBITA, Rumi (Ashikaga Institute of Technology)

1-1 教員養成系大学は小学校英語活動において何をすべきか —小学校サポート事業を通して
小川 一美(清風高校)、吉田 晴世(大阪教育大学)

What can we do to help English activities at elementary schools

OGAWA, Kazumi (Seifu High School), YOSHIDA, Haruyo (Osaka Kyoiku University)

1-2 公立小学校の英語活動に対する保護者の意識調査
小西 千鶴子(ニューヨーク州立大学バッファロー校)

Parental perceptions of English activities in public elementary schools: Survey study of third graders' parents

KONISHI, Chizuko (SUNY Buffalo)

1-3 小学校英語活動における指導語彙の選定に向けて

本田 勝久(大阪教育大学)、柏木 賀津子(奈良市立三碓小学校)、神白 哲史(専修大学)、鍵本 聡(関西学院大学)

Toward the selection of teaching words for "English activities" in Japanese elementary schools

HONDA, Katsuhisa (Osaka Kyoiku University), KASHIWAGI, Kazuko (Nara Municipal Mitsugarasu Elementary School), KAJIRO, Tetsushi (Senshu University), KAGIMOTO, Satoshi (Kwansei Gakuin University)

1-4 外国語教育へのモデリングの応用: 何が小学生の動機付けとなるか?

小林 輝美(東京工業大学大学院)、赤堀 侃司(東京工業大学)

Applying modelling to foreign language learning: What motivates elementary school students?

KOBAYASHI, Terumi (Tokyo Institute of Technology, graduate student), AKAHORI, Kanji (Tokyo Institute of Technology)

5406 第2室 Room 2

司会 山根 繁(関西大学) YAMANE, Shigeru (Kansai University)
名部井 敏代(関西大学) NABEL, Toshiyo (Kansai University)

2-1 英語のリズム学習とITによる評価

樽井 武(舞鶴工業高等専門学校)、荻原 立也(株式会社内田洋行)

The learning of English speech rhythm and its evaluation by IT
TARUI, Takeshi (Maizuru National College of Technology), OGIWARA, Tatsuya (Uchida Yoko)

2-2 日本人 EFL 学習者のリスニングプロセス: 大脳レベルでのポーズへの反応

菅井 康祐(大阪電気通信大学)、山根 繁(関西大学)、神崎 和男(大阪電気通信大学)、横山 宏(大阪電気通信大学)

Analyzing the listening process of Japanese EFL learners: Brain response to pausing variation

SUGAI, Kosuke (Osaka Electro-Communication University), YAMANE, Shigeru (Kansai University), KANZAKI, Kazuo (Osaka Electro-Communication University), YOKOYAMA, Hiroshi (Osaka Electro-Communication University)

2-3 自律学習型オンライン講座における学習の継続を支援する試み

竹井 光子(広島修道大学)、河村 雅子(広島修道大学)

Providing online/offline learner support in autonomous learning

TAKEI, Mitsuko (Hiroshima Shudo University), KAWAMURA Masako (Hiroshima Shudo University)

2-4 リーディング教材の提示法が読解速度と理解力に及ぼす影響に関する研究

湯舟 英一(東洋大学)、神田 明延(首都大学東京)、田淵 龍二(ミント学習教室)

Learners' reading speed and comprehension at different display methods of reading materials in the e-learning environment

YUBUNE, Eiichi (Toyo University), KANDA, Akinobu (Tokyo Metropolitan University), TABUCHI, Ryuji (Mathematics and Intelligence Home School)

5407 第3室 Room 3

司会 WHITE, Jim (帝塚山学院大学名誉教授) WHITE, Jim (Professor Emeritus, Tezukayama Gakuin University)

松本 青也(愛知淑徳大学) MATSUMOTO, Seiya (Aichi Shukutoku University)

3-1 Using free Internet **Cancelled** logging software in a high school EFL "writing" course

WALSH, Matthew (Ikeda High School of Osaka Kyoiku University)

3-2 Discussion in E-learning

SUSSER, Bernard (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

3-3 Using Moodle to foster learner autonomy

RUTHVEN-STUART, Peter (Future University - Hakodate)

3-4 How Do You Read an Aquarium? Organizing Information for CALL

BEATTY, Ken (ex-Professor of Hong-Kong University, free-lance materials developer)

5301 第4室 Room 4

司会 伊藤 隆(名古屋学院大学) ITO, Ryu (Nagoya Gakuin University)

若本 夏美(同志社女子大学) WAKAMOTO, Natsumi (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

4-1 自律的な学習態度及び学習スタイルについての一考察 —生徒への質問紙分析を基に—

森 昭子(大阪府枚方市立杉中学校)

A study on the responsible attitude and learning styles of junior high school students:
Questionnaire analysis

MORI, Akiko (Osaka Hirakata Sugi Junior High School)

4-2 自律型語学学習環境の構築を目指して

松藤 薫子(お茶の水女子大学)、絹谷 弘子(東京大学)、エドワード・シェイファー(お茶の水女子大学)、牛江 ゆき子(お茶の水女子大学)

Toward building environments to encourage learner autonomy in language learning

MATSUFUJI, Shigeko (Ochanomizu University), KINUTANI, Hiroko (Tokyo University),

SCHAEFER, Edward (Ochanomizu University), USHIE, Yukiko (Ochanomizu University)

4-3 自発学習を促進する外国語学習環境の構築 —外国語学習ルームを中心とした教員養成活動の展開—

安田 佳奈(関西大学大学院)、深田 将揮(関西中央高等学校)、竹内 理(関西大学)

For a new foreign language learning environment to facilitate spontaneous learning:
Foreign Language Learning Room and development of teachers

YASUDA, Kana (Kansai University, graduate student), FUKADA, Masaki (Kansai-Chuo High School), TAKEUCHI, Osamu (Kansai University)

4-4 高等学校におけるローテーションペアワークの有効性について

亀谷 貴英(京都府立北嵯峨高等学校)

Effectiveness of rotation pair work in senior high school

KAMETANI, Takafusa (Kyoto Prefectural Kitasaga Senior High School)

5302 第5室 Room 5

司会 伊庭 緑(甲南大学) IBA, Midori (Konan University)

竹野 茂(宮崎公立大学) TAKENO, Shigeru (Miyazaki Municipal University)

5-1 プロソディに着目した日本人の英語発音の容認性 —EILの観点による実証研究—

有本 純(関西国際大学)、山本 勝巳(関西福祉大学)、山本 誠子(神戸学院大学)、河内山 真理(関西国際大学)、牧野 眞貴(ヤマハ英語教室)、佐伯 林規江(同志社女子大学)

Acceptability of English prosody uttered by Japanese learners: An empirical study from an EIL viewpoint

ARIMOTO, Jun (Kansai University of International Studies), YAMAMOTO, Katsumi (Kansai University of Social Welfare), YAMAMOTO, Tomoko (Kobe Gakuin University),

KOUCHIYAMA, Mari (Kansai University of International Studies), MAKINO, Maki (Yamaha English School), SAEKI Namie (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

5-2 実証的研究: パッセージの繰り返し提示と音読練習による重要語句・フレーズの再生への効果

七野 真希(大阪府立佐野高等学校)

Effects of repeated oral reading practice on the reproduction of key words and phrases

SHICHINO, Maki (Osaka Prefectural Sano High School)

5-3 EFL/JFLのケーススタディー: 新たな視点による動機付け研究

川部 和世(関西大学大学院)

Case studies of EFL/JFL learners: A study of motivation from a different perspective

KAWABE, Takayo (Kansai University, graduate student)

5-4 英語ボイスチャットにおける情意的要因の考察

野口 朋香 (愛知淑徳大学)

A study of students' affective factors in English voice chat

NOGUCHI, Tomoka (Aichi Shukutoku University)

5303 第6室 Room 6

司会 山内 ひさ子 (久留米工業大学) YAMAUCHI, Hisako (Kurume Institute of Technology)

杉野 直樹 (立命館大学) SUGINO, Naoki (Ritsumeikan University)

6-1 スペイン語初習者に対する Processing Instruction の効果に関する実証的研究

鈴木 しのぶ (京都外国語大学大学院)

The effectiveness of processing instruction on beginner students of Spanish: An empirical study

SUZUKI, Shinobu (Kyoto University of Foreign Studies, graduate student)

6-2 シャドーイングとディクテーションを利用した CALL 授業の効果に関する実証的研究試論 —英語、フランス語、ドイツ語の場合—

井狩 幸男 (大阪市立大学)、福島 祥行 (大阪市立大学)、田畑 雅英 (大阪市立大学)、添田 晴雄 (大阪市立大学)

A study of the effectiveness of shadowing and dictation in CALL classes: Cases of English, French and German

IKARI, Yukio (Osaka City University), FUKUSHIMA, Yoshiyuki (Osaka City University), TABATA, Masahide (Osaka City University), SOEDA, Haruo (Osaka City University)

6-3 到達目標を明確に示したシャドーイングの指導事例

鈴木 政浩 (西武文理大学)

A way and ways of teaching shadowing

SUZUKI, Masahiro (Bunri University of Hospitality)

6-4 シャドーイングを活用した英・仏語教育

武田 裕紀 (英知大学)、伊藤 佳世子 (英知大学)

On the effective use of shadowing in English and French classes

TAKEDA, Hiroki (Eichi University), ITO, Kayoko (Eichi University)

5401 第7室 Room 7

司会 小栗 成子 (中部大学) OGURI, Seiko (Chubu University)

杉森 直樹 (立命館大学) SUGIMORI, Naoki (Ritsumeikan University)

7-1 英語が苦手な学習者を対象とした e-learning の利用

佐藤 恭子 (プール学院大学)、権 瞳 (プール学院大学)

Utilization of e-learning at class for low-level learners

SATO, Yasuko (Poole Gakuin University), KWON, Hitomi (Poole Gakuin University)

7-2 英語学習を支援する e-learning 教材の開発

北尾 謙治 (同志社大学)

Developing E-learning materials to enhance English language study

KITAO Kenji (Doshisha University)

- 7-3** 大学生における語彙力と英語標準テストの関連性:リスニングと語彙指導を中心に
枝澤 康代(同志社女子大学)、今井 由美子(同志社女子大学)、芝 智子(同志社女子大学)、布施
邦子(日米コミュニケーション学会事務局)、三根 浩(同志社女子大学)

The relationship between vocabulary and English standardized tests: In listening and
vocabulary instructions

EDASAWA, Yasuyo (Doshisha Women's College of Liberal Arts), IMAI, Yumiko (Doshisha
Women's College of Liberal Arts), SHIBA, Tomoko (Doshisha Women's College of Liberal
Arts), FUSE, Kuniko (Japan-US Communication Association), MINE, Hiroshi (Doshisha
Women's College of Liberal Arts)

- 7-4** オリジナル学習支援プログラム「映画英語リスニング・システム」の開発と実践的運用について
岡崎 弘信(創価大学)、新田 晴彦(専修大学)

A report on a web-based listening program using American movies

OKAZAKI, Hironobu (Soka University), NITTA, Haruhiko (Senshu University)

5321 第8室 Room 8

- 司会 横川 博一(神戸大学) YOKOKAWA, Hirokazu (Kobe University)
島谷 浩(熊本大学) SHIMATANI, Hiroshi (Kumamoto University)

- 8-1** コロケーションからみる使役動詞 make と get

古田 八恵(四国大学)

Collocations of causative verbs of "make" and "get"

FURUTA, Yae (Shikoku University)

- 8-2** 副教材から見た正教材の妥当性の一考察 —英単語集と検定教科書の語彙の再検証—
仁科 恭徳(LEC 東京リーガルマインド大学)

Measuring the validity of the vocabulary in the Japanese senior high school textbooks
and English word books

NISHINA, Yasunori (LEC Tokyo Legal Mind University)

- 8-3** 音読の速度と正確さに関する分散学習による音読練習の効果

小野 仁(京都府立園部高等学校)

Effects of distributed oral reading practice on reading speed and accuracy

ONO, Hitoshi (Kyoto Prefectural Sonobe Senior High School)

- 8-4** 音声を併用したフレーズリーディングと音読が言語産出に及ぼす影響

高橋 愛紗(京都外国語大学大学院)

Effects of phrase reading and oral reading practice on language production

TAKAHASHI, Aisa (Kyoto University of Foreign Studies, graduate student)

公 募 シ ン ポ ジ ウ ム

S y m p o s i u m s

15:35-17:15

5405 第1室 Room 1

S-1 Moodle を活用した外国語学習支援

熊井 信弘(学習院大学)、境 一三(慶応義塾大学)、西納 春雄(同志社大学)、安浪 誠祐(熊本大学)

Foreign language teaching with Moodle

KUMAI, Nobuhiro (Gakushuin University), SAKAI, Kazumi (Keio University), NISHINOH Haruo (Doshisha University), YASUNAMI, Seisuke (Kumamoto University)

5406 第2室 Room 2

S-2 TPR 再評価: 中学・高校での授業への応用

鈴木 寿一(京都外国語大学)、川淵 弘二(奈良市立三笠中学校)、清水 一郎(京都府立桃山高等学校)

Re-evaluating TPR: Using TPR in junior and senior high school II

SUZUKI, Juichi (Kyoto University of Foreign Studies), KAWABUCHI, Koji (Nara Municipal Mikasa Junior High School), SHIMIZU, Ichiro (Kyoto Prefectural Momoyama High School)

5407 第3室 Room 3

S-3 ICT を活用した英語授業改善と教材開発

犬塚 章夫(愛知県刈谷市立依佐美中学校)、小笠原 良浩(兵庫県立相生高校)、大嶋 浩行(栃木県立宇都宮清陵高校)

Using ICT to improve our English classes

INUZUKA, Akio (Kariya Municipal Yosami Junior High School), OGASAHARA, Yoshihiro (Hyogo Prefectural Aioi High School), OSHIMA, Hiroyuki (Tochigi Prefectural Utsunomiya Seiryō High School)

5301 第4室 Room 4

S-4 「小学校(児童)英語教育」の教員研修と教員養成について

高橋 美由紀(兵庫教育大学)、小田 寛人(常葉学園短期大学)、柴田 里実(名古屋学院大学)

In-service training and preparation of teachers for English education for children

TAKAHASHI, Miyuki (Hyogo University of Teacher Education), ODA, Hiroto (Tokoha Gakuen Junior College), SHIBATA, Satomi (Nagoya Gakuin University)

S-5 どのようにすれば語彙は効果的に学習されるか —最新の語彙・記憶研究からよりよい指導実践を考える—

池村 大一郎(京都府立朱雀高等学校)、門田 修平(関西学院大学)、溝畑 保之(大阪府立鳳高等学校)、泉 恵美子(京都教育大学)、氏木 道人(関西外国語大学)

Exploring more effective ways of learning vocabulary: Implications of recent vocabulary and memory studies for the classroom

IKEMURA, Daiichiro (Kyoto Prefectural Suzaku High School), KADOTA, Shuhei (Kwansei Gakuin University), MIZOHATA, Yasuyuki (Osaka Prefectural Otori Senior High School), IZUMI, Emiko (Kyoto University of Education), SHIKI, Osato (Kansai Gaidai University)

懇親会 / L E T 賞受賞者挨拶

Convention Reception

17:40-20:00

第2食堂 Dai-2 Shokudo

司会 伊庭 緑(甲南大学)
Coordinator IBA, Midori (Konan University)

9:00- (受付 Registration)

研究発表・実践報告

P r e s e n t a t i o n s

10:00-12:15

5405 第1室 Room 1

司会 神崎 和男(大阪電気通信大学) KANZAKI, Kazuo (Osaka Electro-Communication University)
山内 信幸(同志社大学) YAMAUCHI, Nobuyuki (Doshisha University)

9-1 辞書メディアの違いが語彙処理戦略に与える影響について: 電子辞書と印刷辞書の比較から
秦野 進一(東京学芸大学大学院、東京都立西高等学校)

Do dictionary types affect lexical processing strategy use?: Comparing electronic and printed dictionaries

HATANO, Shinichi (Tokyo Gakugei University, graduate student, Tokyo Metropolitan Nishi High School)

9-2 大学入試センター試験の語彙分析 —高校英語教科書との比較を通して
谷 憲治(武蔵大学)、西堀 雅明(横浜市立桜丘高等学校)

Comparison of the vocabulary in the examination of the National Centre for University Entrance Examinations and that in high school textbooks

TANI, Kenji (Musashi University), NISHIBORI, Masaaki (Yokohama Municipal Sakuragaoka High School)

9-3 単語リスト, 単語カード, コンピュータを使用した英語語彙学習: Low-First 分散学習方式の検証
中田 達也(東京大学大学院)

English vocabulary learning with or without computers: A test of the effectiveness of the low-first spaced learning method

NAKATA, Tatsuya (University of Tokyo, graduate student)

9-4 日本人英語学習者の英単語親密度 —音声刺激提示による検討

中西 弘(関西学院大学大学院)、杉浦 香織(関西学院大学大学院)、池村 大一郎(京都府立朱雀高等学校)、吉村 満知子(京都教育大学)、山本 みどり(立命館大学)、松村 優子(近畿大学)

Auditory word familiarity of Japanese EFL learners

NAKANISHI, Hiroshi (Kwansei Gakuin University, graduate student), SUGIURA, Kaori (Kwansei Gakuin University, graduate student), IKEMURA, Daiichiro (Kyoto Prefectural Suzaku High School), YOSHIMURA, Machiko (Kyoto University of Education), YAMAMOTO, Midori (Ritsumeikan University), MATSUMURA, Yuko (Kinki University)

5406 第2室 Room 2

司会 中野 秀子 (九州共立大学) NAKANO, Hideko (Kyushu Kyoritsu University)
生田 祐子 (文教大学) IKUTA, Yuko (Bunkyo University)

10-1 学習者の存在感が与える英語コミュニケーション学習におけるパフォーマンスへの有効性の検討
ビデオカンファレンスとオーディオカンファレンスの比較において

山田 政寛 (東京工業大学)、赤堀 侃司 (東京工業大学)

Effect of learner presence on learning performance and level of consciousness in English communicative learning

YAMADA, Masanori (Tokyo Institute of Technology), AKAHORI, Kanji (Tokyo Institute of Technology)

10-2 教材を通して対話する教師と生徒の関係

成田 哲人 (東海大学)、鈴木 広子 (東海大学)

Enhancing teacher-student empathy through communicative teaching materials

NARITA, Akito (Tokai University), SUZUKI, Hiroko (Tokai University)

10-3 読解方略の質問紙の開発に向けて: 量的・質的分析から

池田 真生子 (姫路獨協大学)

An exploratory study for the development of the EFL/ESL reading strategy questionnaire

IKEDA, Maiko (Himeji Dokkyo University)

10-4 アカデミックリーディング教材の作成 — データベースを利用したプリント教材作成ツールを用いて

岡本 清美 (関西大学大学院)、神谷 健一 (大阪工業大学)

Generating instructional materials for academic reading: Using a database application for making handouts

OKAMOTO, Kiyomi (Kansai University, graduate student), KAMIYA, Kenichi (Osaka Institute of Technology)

5407 第3室 Room 3

司会 WHITE, Jim (帝塚山学院大学名誉教授) WHITE, Jim (Professor Emeritus, Tezukayama Gakuin University)

松岡 博信 (安田女子大学) MATSUOKA, Hironobu (Yasuda Women's University)

11-1 Open source learning management systems: Collaborative development of Wireless CALL

HINKELMAN, Don (Sapporo Gakuin University)

11-2 Multimedia solutions for your language lab

KING, Stephen (Pearson Longman ELT)

11-3 A tailored intensive vocabulary trainer using an online Flashcard Site

YONEOKA, Judy (Kumamoto Gakuen University)

11-4 Re-evaluating NET roles and impact in the high school classroom community

COLLINS, Peter J. (Tokai University, Research Institute of Educational Development)

5301 第4室 Room 4

司会 染矢 正一(大分県立芸術文化短期大学) SOMEYA, Masakazu (Oita Prefectural College of Arts and Culture)

香取 久子(東京電機大学) KATORI, Hisako (Tokyo Denki University)

12-1 グループ学習によるマルチメディアを利用したインタラクティブな授業の実践

吉田 由美子(大東文化大学)、飯塚 英司(大東文化大学)、松村 祐一(大東文化大学)、山崎 悠平(大東文化大学)

A practice of an interactive multimedia instruction in groups

YOSHIDA, Yumiko (Daito Bunka University), IIZUKA, Eiji (Daito Bunka University, undergraduate student), MATSUMURA, Yuichi (Daito Bunka University, undergraduate student), YAMAZAKI, Yuhei (Daito Bunka University, undergraduate student)

12-2 自主開発リメディアル教育用マルチメディア教材を使ったブレンド型授業

小平 昌子(東海大学)、藤枝 美穂(京都医療技術短期大学)

A blended learning approach with in-house remedial CALL material

ODAIRA, Masako (Tokai University), FUJIEDA, Miho (Kyoto College of Medical Technology)

12-3 iPod を学習媒体とする語彙学習教材の開発

竹蓋 順子(大阪大学)

Development of iPod vocabulary learning courseware

TAKEFUTA, Junko (Osaka University)

12-4 学内ブログから大学間 SNS へ: 学習者の自律を支えあうブログの可能性

野沢 智子(文教大学)

An on-campus blog in English: Some students cannot stop writing!

NOZAWA, Tomoko (Bunkyo University)

5302 第5室 Room 5

司会 保崎 則雄(早稲田大学) HOZAKI, Norio (Waseda University)

野口 ジュディー(武庫川女子大学) NOGUCHI, Judy (Mukogawa Women's University)

13-1 Applications of podcasting to language learning

ROBB, Thomas (Kyoto Sangyo University)

13-2 QR Codes in the classroom

RANDELL, Tim (Ritsumeikan University)

13-3 Cultivating autonomous learners through learning journals

YANG, Tao (Kansai University, graduate student)

13-4 Using movie DVDs in EFL classes: Merits and problems

UMEDA, Hajime (Suzuka International University)

5303 第6室 Room 6

司会 前田 道代(神奈川県立外語短期大学) MAEDA, Michiyo (Kanagawa Prefectural College of Foreign Studies)

溝畑 保之(大阪府立鳳高等学校) MIZOHATA, Yasuyuki (Osaka Prefectural Otori Senior High School)

14-1 中学校の Writing 活動における電子辞書の使用とその効果

杉田 麻哉(京都市立京都御池中学校、関西大学大学院)、名部井 敏代(関西大学)、竹内 理(関西大学)

Effects of introducing electronic dictionaries on EFL writing at a junior high school
SUGITA, Maya (Kyoto Oike Junior High School, Kansai University, graduate student),
NABEI, Toshiyo (Kansai University), TAKEUCHI, Osamu (Kansai University)

14-2 英語ライティング指導におけるコンピュータを介した非同期的コミュニケーション(Asynchronous CMC)に関する実証研究

宮添 輝美(立教大学、玉川大学)

Interaction in asynchronous computer-mediated communication (CMC) in an English writing course for university students

MIYAZOE, Terumi (Rikkyo University, Tamagawa University)

14-3 Moodle 上のピア・レビューを利用したライティングの指導の効果

石塚 博規(北海道東海大学)

Teaching effects on writing ability by peer review function of Moodle

ISHIZUKA, Hiroki (Hokkaido Tokai University)

14-4 英語のライティング力と表現力を高める「出版英語」の授業デザイン

山本 涼一(帝京科学大学)

Designing 'English for Publishing' class to enhance English writing and expression

YAMAMOTO, Ryoichi (Teikyo University of Science & Technology)

5401 第7室 Room 7

司会 鈴木 薫(名古屋学芸大学短期大学部) SUZUKI, Kaoru (Nagoya University of Arts and Sciences Junior College)

石井 和仁(福岡大学) ISHII, Kazuhito (Fukuoka University)

15-1 CALL および eLearning 環境での TTS 英語合成音声の活用研究

東 淳一(流通科学大学)

Using TTS synthesized speech sound for CALL and eLearning environments

AZUMA, Junichi (University of Marketing and Distribution Sciences)

15-2 桐蔭学園中等教育学校の LL プログラムについて ——長期的 LL 教育プログラムの構築と展開(2)——

中西 渉(桐蔭学園中等教育学校)、小川 保紀(桐蔭学園中等教育学校)、渡辺 道信(桐蔭学園中等教育学校)、彦由 和夫(桐蔭学園中等教育学校)

On the LL program at Toin Gakuen Secondary School: Establishing and developing a long-term LL Program (2)

NAKANISHI, Wataru (Toin Gakuen Secondary High School), OGAWA, Yasunori (Toin Gakuen Secondary High School), WATANABE, Michinobu (Toin Gakuen Secondary High School), HIKOYOSHI, Kazuo (Toin Gakuen Secondary High School)

15-3 CALL 自律学習に影響を与える要因

与那覇 信恵(文京学院大学)

Factors affecting autonomous use of a CALL system

YONAHA, Nobue (Bunkyo Gakuin University)

15-4 CALL システムファイルサーバの構築・活用 —フルデジタル CALL システムを有効に活用するために—

峰内 暁世(上智大学)、田中 幸子(上智大学)

Implementation and utilization of CALL file server: Toward active use of a Full-Digital-CALL-System

MINEUCHI, Akiyo (Sophia University), TANAKA, Sachiko (Sophia University)

5321 第8室 Room 8

司会 西本 有逸(京都教育大学) NISHIMOTO, Yuichi (Kyoto University of Education)

川邊 孝(東京電機大学) KAWABE, Takashi (Tokyo Denki University)

16-1 高校生に対する多読指導と情意、読解ストラテジーとの関係

今村 一博(大阪府立吹田東高校)

Effects of extensive reading on reading strategy and affect of high school students

IMAMURA, Kazuhiro (Osaka Prefectural Suita-higashi Senior High School)

16-2 Effective Reading を利用して 学生の英語力の変化と反応

宍戸 真(日本獣医生命科学大学)

A report after using "Effective Reading"

SHISHIDO, Makoto (Nippon Veterinary and Life Science University)

16-3 少人数授業を生かし、補充的学習に視点をあいた基礎学力定着のための取り組み

山本 玲子(京都教育大学附属京都中学校)

An attempt of effective support for beginner students with low motivation

YAMAMOTO, Reiko (Kyoto Junior High School of Kyoto University of Education)

16-4 行事と連動した Content-Based Teaching —京都市立紫野高等学校の取組

皆川 春雄(京都市立紫野高等学校)、中山 祐子(京都市立紫野高等学校)

Event-driven content-based teaching (Murasakino Version)

MINAGAWA, Haruo (Kyoto Municipal Murasakino Senior High School), NAKAYAMA, Yuko (Kyoto Municipal Murasakino Senior High School)

ポスター発表

Poster Sessions

10:00-14:00

5号館3階・4階フロア (5号館3階・4階 Building 5, 3rd & 4th floors)

コアタイム:A グループ(奇数番号) Core time for Group A (odd numbers): 11:00-11:50

コアタイム:B グループ(偶数番号) Core time for Group B (even numbers): 12:10-13:00

P-1 フォークダンス方式による一斉音読指導

紀岡 龍一(大阪府立久米田高等学校)

Changing partners in pair reading

KIOKA, Ryuichi (Osaka Prefectural Kumeda High School)

P-2 CALL 教室におけるフリー音声朗読ソフト活用の自学自習

安藤 直(名古屋学芸大学)

Personal oral English reading utilizing free software in CALL format

ANDO, Tadashi (Nagoya University of Arts and Sciences)

P-3 インターネット版 TOEFL®テスト(TOEFL®iBT)について

高田 幸詩朗(国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部)

TOEFL-iBT (Internet-based Testing)

TAKADA, Koshiro (Council on International Educational Exchange (CIEE) Japan)

P-4 社会・文化的な視点に基づく LMS の外国語教育への応用

住 政二郎(姫路獨協大学)、竹内 理(関西大学)

Applying an LMS to foreign language teaching/learning based on a socio-cultural perspective

SUMI, Seijiro (Himeji Dokkyo University), TAKEUCHI, Osamu (Kansai University)

P-5 旧式の LL 機器を活用したコンピュータ利用の授業

橋場 寛(大阪府立香里丘高等学校)

My English lesson using a computer in the language laboratory

HASHIBA, Hiroshi (Osaka Prefectural Korigaoka Senior High School)

P-6 英語教育と音声認識の融合

小張 敬之(青山学院大学)、児島 宏明(産業技術総合研究所)、大村 浩(産業技術総合研究所)、
奥村 真知((株)プロンテスト)

Integration of English education and speech recognition

OBARI, Hiroyuki (Aoyama Gakuin University), KOJIMA, Hiroaki (Advanced Industrial Science and Technology), OMURA, Hiroshi (Advanced Industrial Science and Technology), OKUMURA, Machi (Prontest Inc.)

P-7 学習動機を高めるための英語指導ストラテジー — Dornyei の *Motivational Strategies in the Language Classroom* で提唱されているストラテジーを活用したアンケート調査に基づく—
森永 弘司(立命館大学)

A study of strategies to heighten students' motivation to learn in English classrooms:
Through questionnaire analyses
MORINAGA, Koji (Ritsumeikan University)

P-8 語彙の授業に用いるデジタル・フラッシュカードに音声合成技術(TTS)を取り込む試み
佐々木 顕彦(関西学院中学部)

Use of the TTS system for digital flashcards in vocabulary lessons
SASAKI, Akihiko (Kwansei Gakuin Junior High School)

P-9 Moodle を用いた Blended Learning の実践報告
福田 仁(十文字学園女子大学短期大学部)

News English with Moodle
FUKUDA, Hitoshi (Jumonji College)

P-10 教師負担1日15分以内で生徒の提出率を上げる宿題について
亀谷 貴英(京都府立北嵯峨高等学校)

High rate of students' submission on assignments associated with teachers' checking
time of 15 minutes or less
KAMETANI, Takafusa (Kyoto Prefectural Kitasaga Senior High School)

P-11 映画を使った語学学習 —映像、音声、字幕、ト書きのデータベース研究開発
田淵 龍二(ミント学習教室)

Language education through motion pictures
TABUCHI, Ryuji (Mathematics and Intelligence Home School)

P-12 ライティング指導再考 —量とシンキングの観点から—
安木 真一(鳥取県立八頭高等学校)

Teaching writing through faster writing and critical thinking
YASUGI, Shinichi (Tottori Prefectural Yazu Senior High School)

P-13 Typeface considerations for classroom materials: Does typeface make a difference?
ROMNEY, Cameron (Momoyama Gakuin University)

P-14 言語処理技術を活用した柔軟性の高いスラッシュ・リーディング用教材作成支援システム
田中 省作(立命館大学)、木村 恵(獨協大学)、北尾 謙治(同志社大学)

A system for flexible generation of materials for slash reading based on language processing technology

TANAKA, Shosaku (College of Letters, Ritsumeikan University), KIMURA, Megumi (Dokkyo University), KITAO Kenji (Doshisha University)

P-15 小学校英語教育における Content Related Curriculum Design の実際

柳 善和(名古屋学院大学)、高橋 美由紀(兵庫教育大学)、米田 尚美(岐阜聖徳学園大学)、清水 万里子(トライデント外国語専門学校)、柴田 里実(名古屋学院大学)、大庭 彩子(愛知淑徳大学大学院)、市川 美穂(愛知淑徳大学大学院)

Content related curriculum design in English teaching at elementary schools

YANAGI, Yoshikazu (Nagoya Gakuin University), TAKAHASHI, Miyuki (Hyogo University of Teacher Education), YONEDA, Naomi (Gifu Syotoku Gakuen University), SHIMIZU, Mariko. (Trident College of Languages), SHIBATA, Satomi (Nagoya Gakuin University), OBA, Ayako (Aichi Shukutoku University, graduate student), ICHIKAWA, Miho (Aichi Shukutoku University, graduate student)

P-16 英語語彙力がリーディング・リスニングに及ぼす影響 — fMRI と NIRS を用いた脳機能測定実験—

石川 有香(名古屋工業大学)

Relationship between vocabulary size and reading and listening: An fMRI and NIRS study of brain activity

ISHIKAWA, Yuka (Nagoya Institute of Technology)

P-17 Using class blogs to promote learner autonomy

STOREY, Christopher (University of Kitakyushu)

P-18 小学生の英語コミュニケーション活動とその評価を容易にする教育支援システムの活用 —教師とメディアによるチーム・ティーチング—

椎名 紀久子(千葉大学)、久埜 百合(中部学院大学)、吉成 雄一郎(東京電機大学)、楊 昉(千葉大学大学院)

Communicative English activities for elementary school children and its supporting system for classroom teachers

SHIINA, Kikuko (Chiba University), KUNO, Yuri (Chubu Gakuin University), YOSHINARI, Yuichiro (Tokyo Denki University), YANG, Fang (Chiba University, graduate student)

P-19 音読能力のスコア化と英語学力との相関に関する研究

鈴木 政浩(西武文理大学)、阿久津 仁史(東京都文京区立第八中学校)、飯野 厚(清泉女学院短期大学)、大澤 由加里(埼玉県立蕨高校)

Is there a clear correlation between learner's proficiency and ability of reading aloud? - Reliability of voice recognition

SUZUKI, Masahiro (Bunri University of Hospitality), AKUTSU, Hitoshi (Bunkyo Eighth Junior High School of Tokyo), IINO, Atsushi (Seisen Jogakuin College), OSAWA, Yukari (Saitama Prefectural Warabi High School)

賛 助 会 員 展 示

C o m m e r c i a l E x h i b i t s

10:00-14:30

5322, 5323, 5324, 5402, 5403, 5号館3階・4階フロア, 1階ロビー

賛 助 会 員 デ モ ン ス ト レ ー シ ョ ン

D e m o n s t r a t i o n s

10:00-13:00

5404 (5号館4階 Building 5, 4th floor)

1. 株式会社 旺文社デジタルインスティテュート
「ASP 配信によるデジタル教材のご紹介」
2. 株式会社パルデザイン
「メモリーカード型【エルエル small】の応用」
3. 株式会社 エス・キュー・マーケティング
「ネットワークを活用した英語教育の可能性【English Discoveries Online】を利用して」
4. 東通産業株式会社
「プレーヤーミントプロフェッショナル版のご紹介」
5. 株式会社 内田洋行
「CALL システム【映画 DVD を使った学習、リズム学習、Web 版ソフトレコーダなど】
のご紹介」
6. 日本ビクター株式会社
「CALL システム【WeLL】を活用した効果的な授業実践例のご紹介」

(各社の発表時間は30分です)

基 調 講 演 2

Keynote Speech 2

13:00-14:20

5407 (5号館4階 Building 5, 4th floor)

テーマ	学習者の自律という観点から見た CALL —日本型 CALL の持つ一面性からの脱却を目指して—
司会	竹内 理(関西大学)
講師	岩崎 克己(広島大学)
Topic	CALL from the perspective of learner autonomy: Breaking away from unidimensional Japanese-style CALL
Coordinator	TAKEUCHI, Osamu (Kansai University)
Speaker	IWASAKI, Katsumi (Hiroshima University)

全 体 シ ン ポ ジ ウ ム

Symposium

14:30-16:30

5407 (5号館4階 Building 5, 4th floor)

テーマ	学習者の自律に果たす教員とメディアの役割
司会	東 淳一(流通科学大学)
パネリスト	岩崎 克己(広島大学) 日常的な情報環境を利用した自律型学習の支援 清水 康敬(NIME 理事長) メディアを利用した教育の効果と教材の共有化に関わる課題 尾関 修治(中部大学) e-Learning での自律的学習と協調的学習の実際 藤田 雅也(ペンタックス) 音声合成(音声読上げ)ソフトを利用した語学教育
Topic	Achieving learner autonomy: The roles of teachers and media
Coordinator	AZUMA, Junichi (University of Marketing and Distribution Sciences)
Panelists	IWASAKI, Katsumi (Hiroshima University) SHIMIZU, Yasutaka (NIME) OZEKI, Shuji (Chubu University) FUJITA, Masaya (Pentax)

閉 会 行 事

C l o s i n g C e r e m o n y

16:30-16:40

5407 (5号館4階 Building 5, 4th floor)

司会	小山 敏子(大阪大谷大学短期大学部)
挨拶	柳 善和(LET 中部支部長、名古屋学院大学)
Coordinator	KOYAMA, Toshiko (Osaka Ohtani College)
Closing Remarks	YANAGI, Yoshikazu (President of LET Chubu Chapter, Nagoya Gakuin University)

大会事務局からのお知らせ

Convention Committee Information

1. 受付・参加費について Registration and Convention Fee

大会受付は、2日目の8月3日(木)と3日目の8月4日(金)に5号館1階で行います。

LET 会員の方は、無料でご参加いただけます。各支部受付で参加登録をし、名札をお受け取りください。

非会員の方は当日受付で、当日会費 3,000 円(学生当日会費 1,500 円)を納入し、当日会員用の名札をお受け取りください。当日会員の資格は大会期間中有効です。

なお、各支部受付にて入会手続きをおとりいただき、年会費をお支払いいただきますと当日会費は無料となります。

団体会員はお一人のみ会員扱いとなります。お二人目以降の参加につきましては、当日会費を各支部の受付でお支払いください。

大会期間中は名札が会員証となります。会場では名札をおつけください。

- (1) The Convention Desk will be on the First Floor of Building 5 on August 3 and 4.
- (2) The Convention is free for LET members. Register with your Chapter and receive your name card.
- (3) The Convention registration for non-members is ¥3,000 (¥1,500 for students). If LET member registration and the annual membership fee are submitted on site, the Convention fee will be waived.
- (4) Only one person is allowed to attend for each group membership. The Convention registration fee will apply from the second person.
- (5) Please wear your Convention name card throughout the Convention.

2. 大会 Handbook と発表論文集 CD について Convention Handbook & CD

大会期間中、受付にてセットで販売しております。一部 2,000 円です。

The Convention Handbook & CD is available at the registration desk for ¥2000.

3. 懇親会について Convention Reception

懇親会は大会2日目の8月3日(木)に、会場校の「第2 食堂」で行います。会費は5,000 円です。当日は、朝より懇親会受付カウンターをもうけております。定員になり次第、受付を終了させていただきますので、お誘い合わせの上、お早めにお申し込みください。

The Convention Reception will be held on August 3 (Thursday) in Dai-2 Shokudo. The fee is ¥5,000. Registration will be accepted on a first-come, first-served basis on the morning of August 3.

4. 昼食・休憩について Lunch and Lounge

大会期間中は会場校の「第2 食堂」が営業しております。どうぞご利用ください。

休憩は5号館1階受付横のラウンジでおとりください。なお、大学の館内は全面的に禁煙です。お煙草は、キャンパス内の灰皿設置場所にてお願いいたします。

- (1) Dai-2 Shokudo will be open for business during the Convention.
- (2) The lounge on the First Floor of Building 5 will be open during the Convention. Please smoke only in designated areas outside the building.

5. 会場への交通について Getting to the Venue

会場へはできるだけ公共機関をご利用ください。

Please use public transportation. There is a limited amount of charged parking available on the left hand side of the main road, just before reaching the campus.

6. 出張依頼状について Letter of Request for Attendance

出張依頼状が必要な方は、大会 2 週間前までに大会事務局に文書(封書)でお申し込みください。

その際、宛名をお書きいただき、必要な切手を貼った返信用封筒を同封してください。

なお、指定の書式がある場合は併せてお送りください。

For those requiring a letter of request for attendance, please send a written application for this by postal mail to the Convention Secretariat before July 19, 2006. Please include a self-addressed, stamped return envelope. If a certain form or format is necessary, please include this with your request.

7. 宿泊などについて Accommodation

大会事務局では、宿泊の斡旋はいたしておりませんので、各自でご手配ください。

Unfortunately, no accommodation service is available through the Convention Secretariat. Please make your own accommodation arrangements.

8. 宅配便について Delivery desk

3 日目の 8 月 4 日(金)には、5 号館 1 階で宅配便(「着払い」のみ)をご利用いただけます。

There will be a desk in the lobby to accept parcels for home delivery on August 4 (Friday). "Chakubarai Forms" for payment on receipt of delivery will be available. No money will be accepted on site.

出 展 賛 助 会 員 一 覧

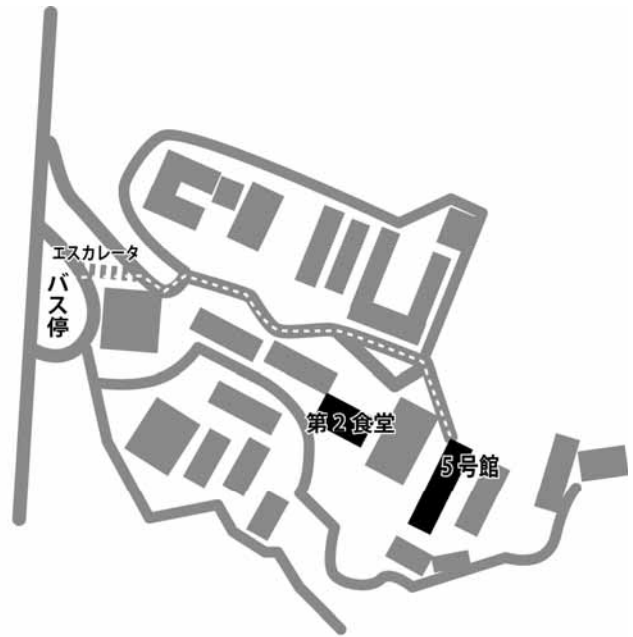
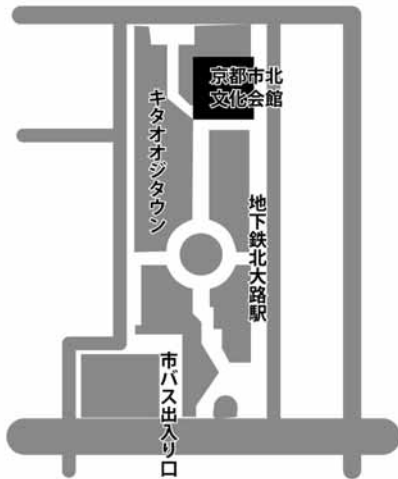
Commercial Exhibits Members

1. BBC World ディストリビューション ジャパン株式会社
2. G-TELP 日本事務局
3. 株式会社 アスク
4. 株式会社 アドバンスト・メディア
5. アバックス 有限会社
6. 株式会社 アルク教育社
7. アルプス システム インテグレーション株式会社
8. 株式会社アンベール
9. 株式会社 内田洋行
10. 株式会社 エス・キュー・マーケティング
11. 株式会社 旺文社デジタルインスティテュート
12. カシオ計算機株式会社
13. 株式会社 金星堂
14. 国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部
15. 財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会
16. 株式会社島津理化
17. セイコーインスツル株式会社
18. 株式会社 成美堂
19. 株式会社ダインエド ジャパン
20. 電子システム株式会社
21. 東通産業株式会社
22. 株式会社 東和エンジニアリング
23. トムソンコーポレーション株式会社
24. 日本ビクター株式会社
25. パナソニック S S マーケティング株式会社
26. 株式会社パルデザイン
27. ピアソンロングマン
28. 株式会社マクミランランゲージハウス
29. マグロウヒル・エデュケーション
30. 株式会社ラーニングウェア

(50 音順)

交 通 ア ク セ ス

A C C e S S



京都産業大学

Kyoto Sangyo University

JR 京都駅から：地下鉄京都駅 北大路駅下車
市バス(北 3)または京都バス、京都産大前下車
(所要時間約 30 分)

阪急烏丸駅から：地下鉄四条駅 北大路駅下車
市バス(北 3)または京都バス、京都産大前下車
(所要時間約 25 分)

京阪出町柳駅から京都バス(33・34・35)、京都産業大学前下車

For English instructions see:

<http://www3.kyoto-su.ac.jp/english/school/location.html>

京都市北文化会館

Kyoto-shi Kita Bunka kaikan

JR 京都駅から：地下鉄京都駅 北大路駅下車
出入口 番(所要時間約 15 分)

阪急烏丸駅から：地下鉄四条駅 北大路駅下車
出入口 番(所要時間約 10 分)

For English instructions see:

<http://www.kyotokaikan.org/kita/index.htm>